

「偏見から抜け出そう～ハンセン病県出身元患者、過去語る～」

以前、このマイスカイでハンセン病について特集したことがありました。あの頃から、ハンセン病についての理解と啓発に関する取り組みを、よく見聞きするようになったような気がします。10月20日に徳島市内(県郷土文化会館)で行われた人権啓発フェスティバルでも、ハンセン病に関する啓発行事が行われました。その記事を見つけたので、読んでみてください。元患者の心の叫びが、記事に載っている短い言葉の中に凝縮されているように感じます。いろんな思いを膨らませながら、じっくりかみしめたいものです。

2001年(平成13年)10月21日 日曜日

偏見から抜け出そう

県郷文で人権啓発フェス

「死を遺るしかないと思った」「子供
の姿を見ることなく、やみに葬られたこ
とが一番辛い」。二十日、徳島市内の
県郷土文化会館で人権啓発フェスティバ
ル(徳島県など主催)があり、国立ハン
セン病療養所の大島青松園(香川県庵治
町)と長島愛生園(岡山県邑久町)で暮
らす徳島県出身の元患者ら六人が市民と
の車座交流で「過去」を語った。「私た
ちにも自身への偏見がある。ともに偏見
から抜け出そう」とも呼び掛けた元患
者。ひざを交えて聞いていた多くの人が
涙を流した。

交流参加者の涙誘う

ハンセン病 県出身元患者、過去語る

県の招きで十九日から
里帰りしていた元患者の
一部と、県立看護専門学
校や城北高校の教諭・生
徒ら約八十人が参加。病
五十三年半。今まで生か
が進行し全盲になった青
松園の東條康江さん(六
〇)徳島市出身は「脳天
から焼け火ばしでえぐら
れるような目の痛みから
逃れるため、死のうと思
った時期がある。どん底
の中から救ってくれた
妻が堕胎させられた事実
はキリスト教の教えと周
りを人の支え。目は失っ
たけど、人として生きて
いく力を与えられた」と
述べた。「療養所に入っ
てから約八十人。今まで生
かされたこと、そして青
松園の東條康江さん(六
〇)徳島市出身は「脳天
から焼け火ばしでえぐら
れるような目の痛みから
逃れるため、死のうと思
った時期がある。どん底
の中から救ってくれた
妻が堕胎させられた事実
はキリスト教の教えと周



県出身の元ハンセン病患者が体験談を語った交流会
＝県郷土文化会館

友義さん(五三)仮名、松
茂町出身は「新しい命
が宿りながら、その姿を
見ないまま葬られてしま
ったことが、人間とし
て、男として、一番つ
らかった」と吐露。愛生園
の吉田正徳さん(八〇)左

那河内村出身は「偏見
は無知から生じる。そし
て、知ること行動する
ことこの間にはさらに大
きな差がある。私も自身
への偏見から抜け出すた
め、人と交流することを
心掛けた」と語った。
会場からは、夏に青松
園を訪ねた城北高二年の
中島芽生さん(一七)が、涙
ながら「こうした交流
の場をもっと増やしてほ
しい。大島にもまた行き
たいし、いつでも帰って
きてください」。青松園
の入所者と交流して二十
年になる藍住町奥野の会
社役員高塚虎男さん(六
三)は「この場に年配の参
加者がいないのが残念。元
患者と同じ目線に立ち、
どんな人生を送ったか耳
を傾けてほしい」と話
した。
最後に、司会を務めた
十川勝幸県ハンセン病援
護協会理事が「私たちに
何ができるか、そして何
をすべきか、それぞれに
考えてみてほしい」と締
めくくり、東條康江さん
と夫の武智高さん(七〇)
高知県出身が歌った唱
歌「ふるさと」も参加者
の涙を誘った。

◇ 息子よ 息子 まで、あなたは……？

先日、ある同和教育の研修会に参加していた先生と、その時の内容について話していました。その中で、下のような資料(文章)が研修会で使われたということを聞きました。見せてもらいながら、「この文を読んで、どこかおかしいと思いませんか？」と尋ねられました。「う～ん……」と唸ってしまいました。みなさんはこの文章を読んで、どこかおかしいと思いませんか？どうぞ考えてみてください。コメントは次号したいと思いますので……。お家の方も、どうぞ一緒に考えてみてください。

息子よ 息子

路上で、交通事故がありました。

タンクローリーが、父とその息子をひいたのです。

息子はすぐ、救急車で近くの病院に運ばれました。

父親は、となりの町の病院に運ばれました。

息子が病院に運ばれると、すぐに外科医が、彼を治療しようとしてしました。

そこで外科医は彼を見るなり、

「息子!! これは私の息子!!」となげき、悲しみました。



■ 3年生のみなさんは、来週第2回基礎学力テストがあります。次から次へとテストがあつて大変かもしれませんが、町同研やその後の全体学習で「一本の大根として」を通して学び合った進路に向ける思いを、みんなのものとして共に乗り越えていこうではありませんか！なお町同研や3Bによる全体学習については、次号報告したいと思います。■来週末、第53回全国同和教育研究大会が、鳥取県内で行われます。全国各地から何万人という人々が集い、各地の同和教育の取り組みや、部落差別をはじめとしたあらゆる差別の現実について話し合います。私たち同教団と高畑先生で参加し、さらなる学びをするとともに、多くの仲間をつくり、つながってきます。その報告も次号行いますので、楽しみにしておいてくださいね！

000 次号の目次 000

11月13日(火) 3年生・3年B組全体学習(午後;体育館)

18日(日) 板野養護学校文化祭

19日(月)～21日(水) 3年生基礎学力テスト

24日(土)～26日(月) 第53回全国同和教育研究大会(鳥取県)

12月1日(土) 板野町解放文化展 意見発表講演会(13:00～;文化の館さくらホール)

3日(月)～5日(水) 2学期末テスト

9日(日) 南公会堂祭り(9:00～13:00;南公会堂)

10日(月)～13日(木) 保護者面談